

第1回の検討結果及び本日の論点

検討会開催日時	議題
第1回：平成31年3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ○検討会の背景と趣旨 ○委員紹介 ○多頭飼育問題に関わる論点整理 ○社会福祉施策と連携した多頭飼育対策に向けた課題整理

第1回検討会の概要

【検討会の目的・考え方】

- 検討会では、社会福祉施策と連携した不適正な多頭飼育への対応に関するガイドラインの作成に向け、3つの観点（周辺の生活環境の改善、動物虐待の改善、飼い主への支援）をふまえて検討していく。

【論点・課題整理】

- 多頭飼育は千差万別であり、多数の事例を把握し類型化により解決方法を導くことに加え、関係者が連携して対応する体制づくりが必要である。
- 単に多頭飼育に制限を加え、飼養者から動物を引き離すことは根本的な解決に至らないことをふまえ、多頭飼育の背景や要因を十分把握したうえで、解決方法を考える必要がある。
- 個人の課題であると同時に、孤立した背景のなかで経済的・関係的困窮が絡み合い複雑化する、地域としての課題。課題が顕在化してからの対応のほか、潜在的な環境を察知し早期アプローチできるかが重要である。
- 飼育者も劣悪な環境で生活しているケースが多く、人の福祉としても大きな問題であり、人と動物、双方の行政が協力することが必要である。

【事業計画(案)】

- 検討会開催、アンケート・ケーススタディ実施、課題整理、ガイドライン案策定等に関するスケジュールについて

本日の論点

- ◆ 不適正な多頭飼育対策にかかる自治体の状況と、自治体が把握している不適正な多頭飼育の個別事例について把握するため、どのようなアンケートを実施すべきか？
- ◆ 3つの自治体で実施するケーススタディや、今後の計画について、どのような事項に留意すべきか？